

## 市民の目線に立った金沢パブリックアートプロジェクト No.2



### 都市とアートの未来を描く

公募制プロジェクト / 北陸ブロック

土田 義郎 金沢工業大学

谷 明彦 金沢工業大学

上坂 達朗 株式会社 東洋設計

鏑 隆弘 金沢美術工芸大学

## 平成17年～18年の成果

### アートアベニュー沿いの美術作品を評価

一般市民、学生、都市デザインに関わる専門家が参加

#### 結果

- それぞれの作品の評価は、立場によって異なる傾向がある
- これまでじっくり鑑賞したことのない人がほとんど

#### 課題

- 市民にほとんど親しまれていない現状
- 設置者、作者、市民、都市デザインの専門家の参加する議論の場の創出
- 設置されているものの維持や、今後の撤去に関するルールづくり
- 設置プロジェクトへの市民の関わり方



## 平成18年～19年の取り組み

美術作品の作り手、設置する立場の人の目を入れ、議論を深める

1. 見学会とアンケートの実施
2. フォーラムの開催
3. 美術作家へのインタビュー

この街のパブリックアートのあり方を議論することで・・・

- ア まちのアイデンティティの向上
- イ 芸術を介した市民参加スタイルの創出
- ウ まちのランドマーク機能の向上
- エ アーティストと市民の交流機会の増加

# 1. 見学会とアンケートの実施



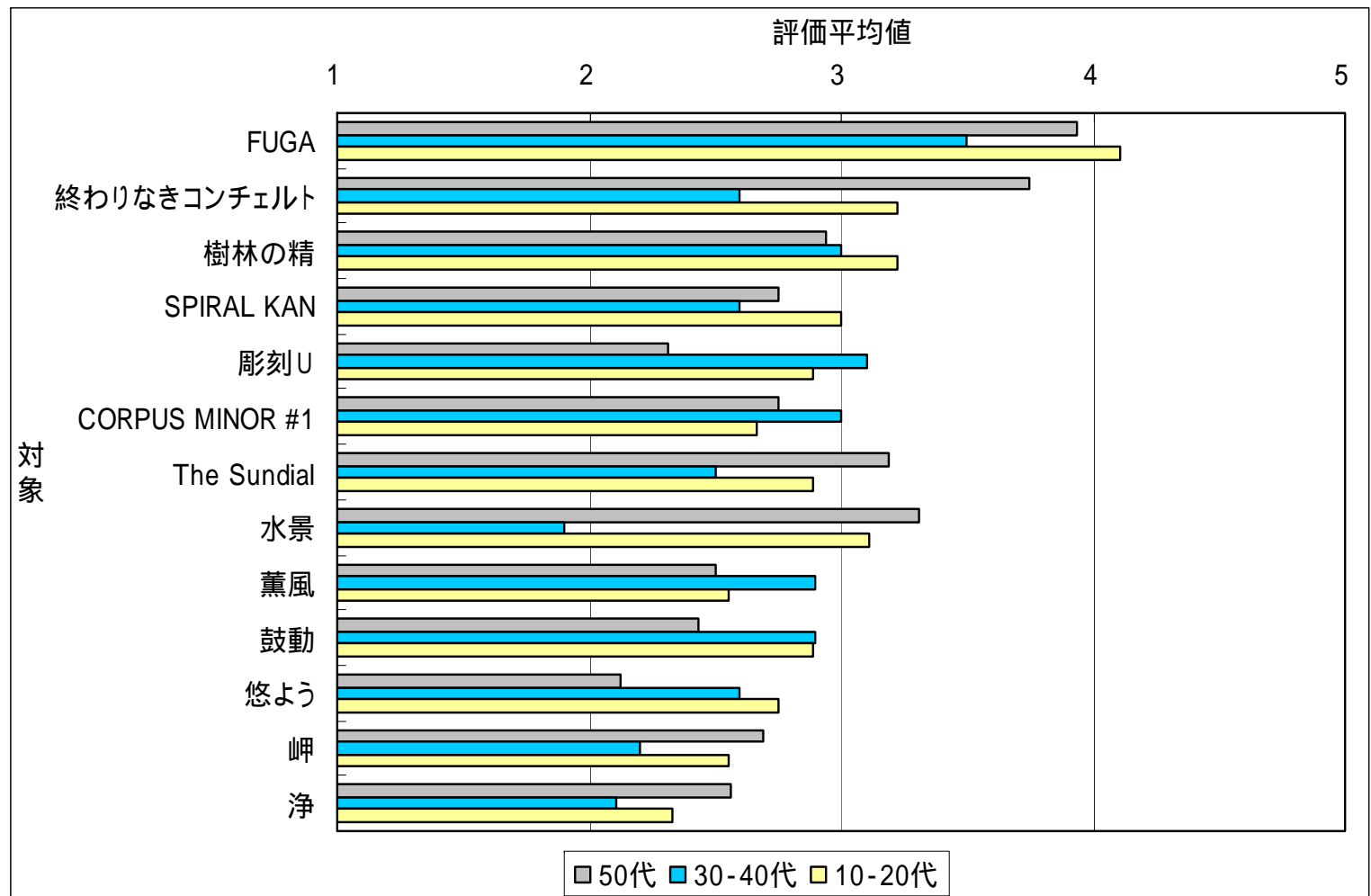
## 評定用紙の内容

1. 個々のアート、およびその立地する環境について感想をプラス面とマイナス面から自由記述
2. 5段階の数値による評価
3. アートアベニューのあり方に関する全体としての感想・意見の自由記述
4. 今回見学した中で環境も含めたベスト3



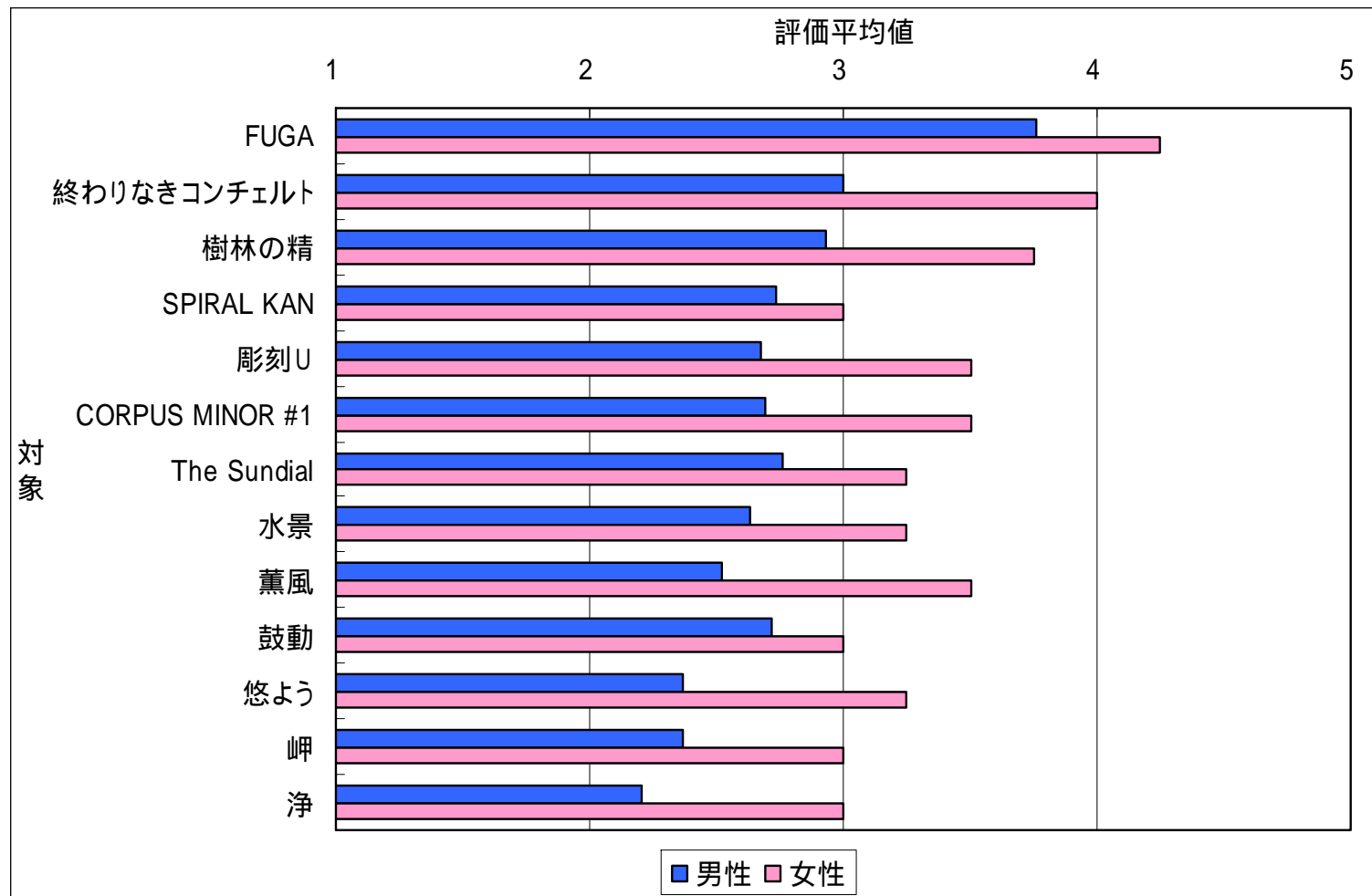
## 1-1 アンケートの結果

### 5段階評価の年齢層別平均



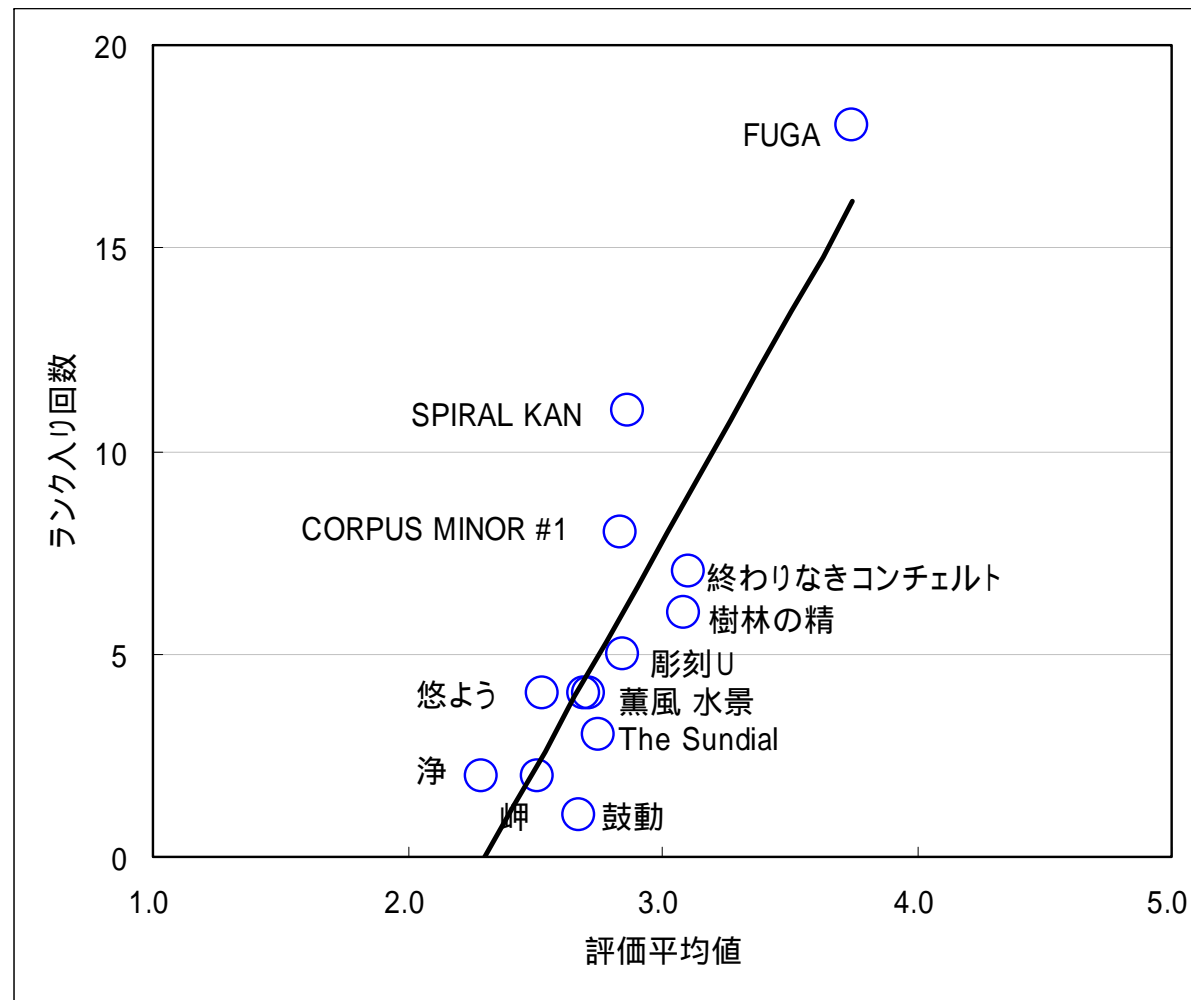
## 1-1 アンケートの結果

### 5段階評価の性別平均



## 1-1 アンケートの結果

## 評価の平均とランク入り回数



## 1-2 アンケートに関する考察

### 評価の高いもの



### 評価の低いもの





## 2. フォーラムの開催

### プログラム

パブリックアートに関する問題定義

金沢のパブリックアートの現状と、  
作品の評価結果の発表

### ディスカッション

- 設置の経緯
- パブリックアートとは
- 場について
- パブリックアートのあり方に向けての意見



## 2-1 設置の経緯（従来型）

### 設置者

- 余った予算で作る
- すき間に設置する

### 美術作家

- 頼まれれば喜んで創る
- 置かれる場所の責任は持てない

### 市民

- 気付かない
- 邪魔に思う



## 2-2 設置の経緯（参加形）

美術作家と市民が役割を決め、  
まちなかに作品を設置

- ・ 制作のための会議
- ・ 制作過程をHPで公開、  
意見をつのる

3年間でペースダウン

モノづくりは楽しいけれど  
疲れてしまった・・・



## 2-3 ディスカッション

設置者の立場から

- 市民参加形           問題がない作品がよい作品
- パブリックアートを政策として進めている例は日本にない
- 両者を区別すること
  - 作品の持っている美術的価値
  - 設置場所とその周りとの関係で発生する意義



## 2-3 ディスカッション

### 美術作家の立場から

- 作品は喜んで制作する。
- 置かれる場所について責任は持てない  
場所を設定してからの制作依頼 皆無に近い
- 制作において「パブリック」という意識はない  
作家のプライベートな想いから  
制作が始まる
- 場を設定するのはデザイナーの役目



## 2-3 ディスカッション

### 都市環境デザインの立場から

- 場を公共にするためのアートが、パブリックアートである。
- 市民との関わりがあることにより、作品が活かされていく
- パブリックアートについて議論を喚起することと、議論の本質を市民に浸透させていくことが重要



## 2-4 ディスカッションのまとめ

今後に向けて

- 公共の美意識の育成

どうやって

- Education
- Conversation
- Communication



### 3. 提言に向けて

#### それぞれの役割

- **市民**  
議論に参加すること  
美意識を高めること
- **設置者**  
パブリックアートのことを、まちの政策論から始めること  
議論の場を用意すること
- **美術作家**  
場と鑑賞者を意識して、作品の見せ方の工夫を行うこと
- **都市環境デザイナー（JUDIメンバー）**  
作品にふさわしい設置場所を提案、創出してゆくこと  
市民が、都市の質向上の場に関わるための、しくみを用意してゆくこと



## 4. 美術作家へのインタビュー

### 自身の作品の現状について

管理がされていないものもある

当初のイメージと異なり、残念

### 望むこと

設置作品が「愛されるもの」であってほしい

- 作品を生かす場の創出
- ディレクターの参加
- 早い段階での作家の参加

# おわりに

